



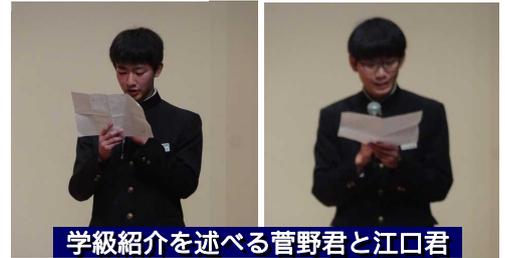
# 手をたずさえて

## 質の高い合唱を披露！称讃を受けました

### 郡山市中学校 音楽学習発表会

11月7日(木)けんしん郡山文化センターにおいて「第47回郡山市中学校音楽学習発表会」が行われました。各学校の合唱コンクールで学校代表の賞を得た学級が集い(小規模校では学年全員、全校生で参加する学校もありました。)、それぞれに素晴らしい合唱を披露しました。本校からは、3年4組と3年6組が出場しました。「聴いていてとても心地良かった」「男女のバランスがとてもよく、まとまっていた」「ピアノ伴奏が素晴らしかった」など、一緒に聴いていた他校の校長先生方からたくさんお褒めの言葉をいただきました。まさにいただいた言葉通り、両クラスともにレベルの高い合唱を披露してくれました。3年4組は、はじめに菅野柗羽君が学級紹介を述べ、佐久間美羽さんの指揮、菊池こころさんの伴奏により『結～ゆい～』を心を込めて見事に歌い上げました。3年6組は、江口来偉君が学級紹介を述べ、大橋七海さんの指揮、倉澤舞さんの伴奏により『信じる』を演奏しました。男女のバランスがとれた美しい歌声が会場に響き渡りました。

「文化センターという大きなホールでのステージで学級の合唱ができる」というこの貴重な経験は、中学校生活の大きな思い出のひとつになったと思います。今回得た一人一人の思いをこれからずっと大切にしてほしいものです。



学級紹介を述べる菅野君と江口君



3年4組『結～ゆい～』



3年6組『信じる』

## 生徒会のこれからに期待！

10月30日(水)には郡山市中央公民館において「第60回郡山市中学校生徒研究発表会」「第42回郡山市中学校生徒会交歓会」が開催されました。市内中学校の生徒会役員が一同に会し毎年行われている伝統ある活動です。本校からは、会長の二瓶柚乃さん、副会長の狗飼康

生君、千葉桃佳さん、書記の安齋颯君の4名が参加しました。9校の研究発表会が行われ、こちらに参加した安齋君は、特に御館中の「柳橋歌舞伎」(伝統芸能)の発表が印象に残ったそうです。他の3名は生徒会交歓会のグループ協議や分科会に参加しました。「文化祭を活発にするためには」、「よりよいSNSの利用は」、「全校生の意見をどう反映させるか」などのテーマにそって活発な話し合いが行われました。「他の学校の生徒会役員と議論して得たものは、とても大きいと思います。そして、この会で得たアイデアを今後の生徒会活動に生かせるよう、努力していきたいと思います。」(生徒会新聞より)

新生徒会役員を中心とした富中の生徒会活動に大いに期待したいと思います。



グループ協議の様子

# 読書新聞社主催 第69回全国小・中学校作文コンクール福島県審査 中学校の部 優秀賞受賞!

1年4組佐々木萌里さんが頭書の成績を取めました。自ら進んで行っているボランティア活動、立派ですね。その活動での心温まる出来事を、短いセンテンスで巧みに表現した秀作です。

## 『幸せのカフェオレ』

1年4組 佐々木萌里

「寒いのに感心だね。はい、カフェオレ。」

寒さで指がかじかんでいる私の手に、ポカポカのカフェオレが近付いてきた。

「あっ、ありがとうございます。」

私は不二家のペコちゃんのように、ペロツと舌が左に寄った。自然と笑みがこぼれてきた。これは、去年の年末の事だ。私は、去年のあの猛暑の夏休みからずっと、道路や側溝、バイパスなどのゴミ拾いをしている。缶やペットボトル、タバコの吸い殻等を拾っているのだ。

おじさんは、「ゴミ拾い、家族でやってるの?」と聞いた。

「いいえ、私だけです。」

「休日なのにこんな朝早くからすごいね。」

とほめられた。私のかじかんだ手に感覚がもどってきた。私は一気にカフェオレを飲み干した。

「何よりもおいしい。こんなにおいしいものはない!」と思った。

一本のカフェオレがこんなにおいしく、こんなに嬉しかったのは初めてだ。心も温まった。おじさんの親切な思いやりが、嬉しくて仕方なかった。見慣れた自販機。お金を入れると出てくるジュース。それを当たり前のことと思い、別に何とも感じなかった私には、この手に渡された一本のカフェオレが宝物のように感じられた。とても不思議な一日の始まり。今日はいいい事がたくさん待っているはず。

「あれ?おじさんがいなくなった。」と思ったら、何と「僕も手伝うよ。」と手袋とトングを持ったおじさんが現れた。そして、おじさんは、側溝のゴミを拾いはじめた。そして、「一緒にやろうね。」と手伝ってくれた。側溝の中には、土砂や弁当の空箱、缶やペットボトルが埋まっていて、トングだけで取り出すのはとても大変だった。網のフタの下にもすごいゴミがたまっているのが見えたが、そのフタは重すぎて外れそうになかった。

「これは市役所に電話をしなきゃね。」と、おじさんは言った。

作業が終わり、おじさんにお礼を言って、バケツいっぱいゴミを持ち帰ろうとしたら、

「ゴミの日に出しておくから置いていきな。」と言ってくれた。

その日から、私は自販機を見る度に、おじさんの心の温かさを思い出す。

人は、時として、見て見ぬふりをする時がある。私もその一人だった。しかし、これからは、どんな時も「ありがとう」「すみません」と一言声をかけられるようになりたい。何事にも行動する勇気が必要だ。悩んでいる人もその一言で元気が出るだろう。

どうしようかと迷っていたら、ただの見物人になってしまう。思っている、人には伝わらない。すぐに行動に移すことが大事だ。私は、何気ないあいさつ、何気ないお手伝いを心がけていきたいと思う。私は、自分を相手に置きかえる想像力を身につけたいと思う。それによって、人は分かり合えると思う。それは、つまり、思いやる心だ。私は、相手の立場でその時の状況を判断して人の気持ちを理解してあげたい。

私は今回、見ず知らずのおじさんから、「相手を思いやる」ということを学んだ。それによって、自分はとても幸せな気持ちになれた。だから私は、人のために役立つことをしたい。まず最初は、支援学校の友達とふれあったり、老人ホームでのお手伝いもしたいと考えている。自分から勇気を出して行動していきたい。



## 保護者の皆様へ

■ 教育相談では、お忙しい中、来校していただき、ありがとうございました。今回の話し合いを今後の指導・支援に活かしてまいりたいと考えております。今後も相談等がありましたら、遠慮なく連絡をいただければ幸いです。

■ 新人チームの部活動の各種大会において、送迎や応援等のご協力・ご支援に感謝申し上げます。生徒の頑張る姿は、その都度本校ホームページにも掲載しております。

■ 11月22日開催の増田太郎さんの教育講演ライブが近づいてまいりました。保護者やご家庭の皆様にも是非感動と癒しの“増田太郎ワールド”を体感していただきたいと考えております。